

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第97回）に係る面談

2. 日時：令和4年2月9日（水）11時05分～12時05分

3. 場所：原子力規制庁18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、正岡管理官補佐、高松専門職、横山係長、石井係長、塩唐松係員
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 6名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 1名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○原子力規制庁は、次回（第97回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の進め方について、東京電力ホールディングス株式会社と認識を共有するとともに、資料に基づき以下の説明を受けた。

➤ 中期的リスクの低減目標マップの改定に向けた東京電力の意見について

○また、原子力規制庁は、3号機 PCV 取水設備設置工事の準備作業における可燃性ガス等の検知に関して、改めて以下の3点を指示した。

①3号機のRHR（B）系についても、同様の事象が発生している可能性があるため、早期にその確認を行うとともに、確認が行えない場合は当該箇所の隔離など安全上必要な措置を講ずること

②今回の事象の推定原因等を踏まえ、3号機その他系統でも同様の事象が発生している可能性があるか検討すること

③1/2号機でも同様の事象が発生している可能性があるか検討すること

6. 資料

➤ リスクマップ改定に向けた当社意見について